

刊夕日二月一十

常警每日新聞

定額 一月五拾圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
電話 五拾五號
發行所 常警新聞社
印刷所 常警新聞社

信仰身の上相談

眞 繼 雲 山

永久死なぬもの

【問】人間の世の中に「死ぬるといふことがなければよい」と思ひます。死ぬるといふことがあつたらう、行く手は真つくらやみで何もかも無意味で、つまらないやうに思ひます。さう思ふと今日といふのではないのですけれど、どうせ一度は死なねばならぬのかと思ふといやで、たまらなく人生が暗いものになります。斯ふして死を恐怖してゐる私は、眞繼雲山先生の著「死生考」を焦るやうに求めて一氣に讀了しました。以前程に死ぬるといふのがイヤではないやうにはなつたやうにも思ひますが、不生不滅の本心といふことが分りません。私にも何ぞ死なずに永存するものがありませうか私に取つての、不生不滅の本心とは何であるかを教へて下さい（恐怖生）

本心は永生不滅

【答】佛教の鐵則は、形あるものは必ずこわれるといふのでこれを無常とも生者必滅とも申します。五尺の肉體は縁ありて生れて來た

もの故縁滅すれば從つて滅します。もと、父母の赤白二滯が種となつてふくれ出し、それに葉つ葉大根をつちかゝつて大きくなつて來たのですから大元の種は父母の借り物外殼の肉體は天地の寄せ集めのつまりこれも借り物です。借りたものは、いつかは返さねばなりません。

さて本心といふのは何かと申すに、私達が普通に考へてゐる心とは、コロコロと轉るといふ、語義を有してゐます。花を見て美しい、美食を見てたべたいなどいふ心は謂はゆるコロコロの部に屬し、肉體あつての從屬の心です、肉體が無くなれば、そんな心も無くなります。

ノート

洋傘が古くなつたらその鐵骨を利用して草花の支柱にすると便利です

肉體が滅しても無くならぬ心とは、それが本心です。夢の中で、自分と他人とが對立して喧嘩をしてゐる、その争ひの心は夢かさめると無くなります。然夢を見て

あるといふ以上、その自分と相手との對立の心を産み出してゐる根本の心（寢てゐる主人公の心）がある筈です。その根本の心が、あればこそ夢を見るのです、夢中の心が生れるのです。

【朝】すまし汁……おとしいも、もみり
【書】大根いり……大根、油揚
【晚】酢のもの……酢どり赤貝、短冊大根、生姜、三杯酢

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

株主の幸福

- 一、年四分の報賞金を差上げます（他に利益配當）
- 一、一世帯貳千圓迄御貸付致し（株券の倍額）
- 一、株券御不用の場合、證券會社、御引受致し御貸付、御返済、株主本意に御取扱致し御一、法律經濟の御相談は無料、御引受け致し御本店同様營業を開始いたしました
- 御利用下さい

福島縣平町十五丁目廿六
常警商工助成株式會社
電話 四六六番
振替東京六二九五一番

各地代理店募集

内郷出張所
平潟出張所
平潟本町

常警文藝

飯村閑舟

いそいと砂踏み鳴らし
さまよひる
海なたのしも獨りわびしく
はかなさは心も解けず
去る友の
憂へに明すその夜でありさ
戯れる
くらげの旅は波越えて
ひろびろ遠く涯しも知らず
海しつか
風きて渚に蟹いで、
わが足音に逃げるいとしさ

【十一】一月三日酉六時閉
【一白】勞して功無き不閉
【二碧】我望事は金銭問題
【三碧】我望事は金銭問題
【四碧】我望事は金銭問題
【五碧】我望事は金銭問題
【六碧】我望事は金銭問題
【七碧】我望事は金銭問題
【八碧】我望事は金銭問題
【九碧】我望事は金銭問題
【十碧】我望事は金銭問題

三井タクシー

平町二丁目 電話六八五番

十一月二日・三日・晝夜
二日ヨリ 四日・五日・二回（普通席）
（三〇錢）

平町の映畫戲堂 世界館 電446

産名島松

美味と滋養で名高い一の井の

力キ貝 御料理

獨カキフライ……廿五錢
カキナベ……四十錢
カキキス……廿五錢
一の井 電一六七番

待望 瀧の白糸 前後篇 全部上映 公開
原 作……（文豪）……泉 鏡 花
回 入江たか子・岡田時彦・村田廣壽・浦邊余子 回

◇出づべくして出ざりし入江たか子の下町情緒物然も。待望熱して岡田時彦の特技名匠溝口監督の心魂を傾注せる指導に本年度第一級名畫として燦として輝く最高峰絶對白眉篇……◇
嵐寛壽郎・歌川八重子・淡路千景子。
錢形平次 富籤政談 全十三巻
捕物奇談 富籤政談 全十三巻
右門に代つて登場する錢形平次十八番手柄である……戦慄……怪奇……大情炎地獄

組合製糸場

建設の意嚮

近く役員會に附議

四倉商市場は年々取引が増加し本年度は春秋を通し約八萬貫に達したが明年は十萬貫を突破するものと豫想されるので組合幹部間には自給自足の組合製糸場經營説が現れ近く開かれる役員會に是れが具體案を協議する筈であるが現在縣下に於いて組合製糸を營みつゝあるは會津及び中通方面の六ヶ所で濱通りには全然なく今後組合員の奮發如何では製糸場經營も左程難事業でないものと見られて居る

有権者減少

資格者名簿完了

既報平町役場では九月十五日現在の衆議院議員並に町會議員選舉有資格者を調査し人名簿の調製中であつたが此程完了したので見ると衆議院資格者は四千四百四十三名、町會資格者が四千二百六十二名で昨年度に比較し衆議院は五十九名、町會が八十名何れも減少して居る、尙町役場では来る五月

二毛作獎勵

大浦更生策

大浦村では去る卅一日午後

本紙創刊記念日に

畏みて神詞を奏上

昨日磐社々頭嚴かに

愛讀者各位の健昌を

昨日は本紙十一回目の創刊記念日に當る處より昨報の如く川崎本社長夫妻は本社を代表し午後四時より縣社子銚倉神社に於いて多年の恩顧を辱ふせる愛讀者各位の『家運隆昌』と『身体堅固』を嚴かに祈願したが當日司

體案を協議した

平第三校で

階上新築

記念展覽會

平第三小學校では来る二十四、五の兩日階上新築落成記念として全校児童の手工書方、圖書等の成績品展覽會を催すと

聯合演習

統監部

編成決定

既報石城聯合青年訓練所主事會は昨日午後一時より平

第一校に開き来る二十二、二十三の兩日植田方部に於て開催される聯合演習に關する打合せ其他種々協議したが演習に於ける統監部職務編成は左の如く決定した

好問校の

竣工式舉行

好問村では豫てより工費五千餘圓を投じて同村第一小學校の増築並に第二小學校の改築工事中であつたが此程竣工したので明三日午前十時より兩校で竣工式を舉行し併せて圖書の展覽會も催すと

人事々件

離婚が多い

平支部の今年度に於ける人事々件の受理件数は去月末日迄で合計十件であるが事件別は左の如く離婚が一番多いと

御魂命の大前に畏み々々申さく天地と共に榮え日月と共に進みて止まぬ大御代の微と萬の事業彌進みに進み彌興に與るが中に複雑なる社會の大小事業を最も早く知らして世の眼人の戒めとも爲す新聞はしも現身の人の世に最も

愛多き業として概く我が大御國に行はれ一日だに是なくば暗夜に燈火を失ふが如し茲に常磐毎日新聞社は社長を始め社員手人に至る迄忠實に眞かに勤め締

新米取引

昨日の相場

既報本年度新米の共同販賣は昨日午前九時より平農業者會にて五等三十三俵、等外八十七俵、計百二十俵を入札せる結果四等建値九圓一錢を以つて湯本町入山炭礦糧食部に落札したが御祝儀相場の爲め市價よりも五十一錢高値であると

軟式野球

参加十チーム

組合せの協議

既報マルトモ運動具店主催第五回平軟式野球大會は愈々来る五日午前八時より磐中、平商、第一各球場に於いて舉行されるが出場申込は目下の處左記十チームにて明日午前七時よりマルトモホールにて各キャプテン會議を開き當日の組合せを行つた

稅務卓球

明日試合を

第三回平、相馬兩稅務署の對抗卓球試合は明三日の明治館をトし午前十時より平署樓上に於て開催されるが平の出場選手は左の如くである

唯野署長 三浦 賀澤
目黒 金崎 佐藤(善)
關根 寺山 佐藤(平)

磐中野外演習

磐中二年生二百三十餘名は本日平窪村方面に於て大井川配屬將校を始め庄司、遠藤兩教官指揮の下に野外演習を行つた

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會

毛糸

今年度新色全部揃へました。
何卒御来店下さい……。

合名 會社 **ハシモトヤ糸店**
平・田町 電十四番

危し・殺人酒!

平にも潜入したか

毒素メチル分を多量に混入し上戸等を恐怖せしめた殺人焼酎は目下

全国的でその取締りを厳行中にて山形市某酒店より発見された殺人焼酎が偶然にも平町五丁目酒類商大竹芳之助方の手を経て本年四月購入せし旨判明したが平地方にも殺人酒が大竹酒店を経て分散せらるやも圖り知れず本縣

山形に移出した大竹酒店 けいふ數點を沒收して分析

衛生課 より出張し來つた落合技手は本日平署員と共に同店を嚴探して數點の酒類を沒收し分析試験に附し検査中であると

弓道大會

警中に開く

警中弓道部では来る十一日午後一時より同校矢場に於て校内弓道大會を催すと

場處馴れせぬが

敗因の一つかと

無念の室原部長語る

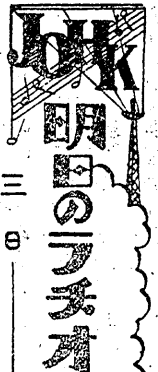
昨報明治神宮の庭球大會に無念の敗を招いた平商の安島、木田組は室原部長に引率され昨夕平着七時四十六分にて多數の出迎を受け歸平したが室原部長は残念氣な面持ちで左の如く語つた

歩行困難

お助けを

平町役場へ

北海道小樽市日出町生れ松永由之介(三)は本年五月東京市芝區芝浦の某工場でベソキ塗替作業中高所から轉落して以來失業した處妻フ



明日のラジオ

今夜は北の風曇明日は北西の風天氣良なる見込

今晚の部

- 後六〇〇(子供の時間) 童話「笑ふお人形」松美
- 後六二五 英語講座 源
- 馬次郎
- 後七三〇 講演「新たに明治天皇を偲び奉りて」
- 三上參次
- 後八二〇 漫談「醫殿」 徳永天露

明日の部

- 後八四五 「萬歳お國訛と物真似」松の屋錦水、河内國春
- 後九〇五 清元「保名」
- 清元小喜久太夫外
- 後九三〇 時報「ニュー」
- 氣象通報 番組豫告
- 前九三〇 奉祝唱歌「明治節唱歌、君が代」女子放送合唱團

寄留届がないと

就學が遅れます

學齡兒童を持つ親は

手落ちのない様に

平町役場では近く九年度の小学校就學兒童を調査する事になつたが明年就學する兒童は昭和二年四月二日より同三年四月一日迄に生れた者であると因に毎年寄留届を出してない爲め就學の遅れる家庭が相當あるが寄留届は十二月末日迄にまた疾病其他の事故で就學出来ぬ者は明年一月二十日迄に診断書に印鑑を添へて町役場に届出られたいと

明日の體育デー

ラヂオ體操と體育歌

各校學式後に

平町各中等學校及び各小學校では明日の明治節が體育デーに當るので學式後ラヂオ體操及び體育歌を合唱し萬歳三唱して解散すると

池坊生花

總會を飾る

平女子青年團では明日三日婦人會、明後四日女子青年團の各總會が第二校に於て開かれるのを機として同校家事室に池坊龍生派生花約三十點の陳列會を催すと

平窪校も

バザーを

来る十日に

平窪小學校では来る十日公民學校と聯合して手藝品毛織物及び野菜等のバザーを開くが併せて兒童の成績品展覽會を催すと

少年消防

夏井に組織

夏井消防組の秋季消防檢閲は本日午前十時より同村小學校に於いて行はれたが當日は少年消防隊の發會式も併せて行ひ横山平署長が出席した

掛取り男

不慮の盜難

小名濱町字橋本金物商小島義雄方雇人伊達郡白根村生れ遠藤季吉(三)は去る卅一日掛取りに出掛け同町古港荒井サダ方にて用談中自轉車ぐるみ三十圓餘入りの手下げ財布を何者にか窃取されたと平署へ届出た

- 前一一〇〇 記念講演「明治天皇の御製に」子爵岡長言
- 前一一三〇 全日本體操聯盟主催 第二回全日本體操祭賞状「明治神宮外苑より中繼」
- 後一一〇〇 講演「明治維新の翼賛運動」文學博士笹川種郎
- 後一一四〇 仙臺市内高等女學校聯合音樂會狀況(仙臺市公會堂より中繼)
- 後一五〇〇 雅樂「唐樂盤涉調」音取「蘇莫者、越天樂多忠紀外大勢」二高鹿樂平調「音取」林歌山井景昭外大勢
- 後一五五〇 諸曲「安宅」觀世左近外はやし連中
- 後二〇五〇 第七回明治神宮體育大會競技賞状(第四日)「選抜中等學校、東京大學野球聯盟新人決勝試合」
- 後二一〇〇 長唄 土蜘蛛 芳村伊十郎
- 後二五五〇 管絃樂 日本放送交響樂團
- 後六〇〇(子供の時間) お話「世界の自慢話」石井傳一
- 後六二五 講演 貴族院議員 森平兵衛
- 後七三〇 明治天皇聖蹟第一次發表記念講演會賞状 日比谷公會堂中繼

好間消防檢閲

好間消防組の秋季消防檢閲は来る廿五日午前九時より同村第一小學校庭に於いて行はれる

平職業紹介所報告

- 求人を求める方
- △車力 三十以下 尋卒 日給七十錢(平町某)
- △雜役 二十五才 委細面談(江名町某)
- △農務 三十迄 委細面談(鹿島村某)
- ▽女中 二十以下 尋卒 月五圓(平町某)
- 回職を求める方
- △事務員 二十四才 早大 専門部出 給料面談(平町某)
- △雜夫 四十二才 尋卒 給料面談(内郷村某)
- △コック 三十二才 高卒 給料面談(田村郡某)
- △給仕 十八才 實業補習卒 給料面談(渡邊村某)

銘剣秘刃録

【禁無断轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第八十回

血に飢ゆる村正

何處までも忠義者

榮之丞は立上りながら

榮「顔を見るのも氣色が悪い、花魁何處かへ行つて呑み直さう皆も跡から来るが宜い」

と云ひながら次郎左衛門の顔へ痰を掛けました、身をかかさうとしたけれども

かわし兼ねたか小鬚へ青痰が掛りました、怒るかと思へば次郎左衛門何にも云はず掛けられた痰を懐中から紙を出して拭つて居る中に

榮之丞は八ッ橋諸共阿波太夫や丸善を連れて角町の海老新といふ料理屋へ飲み直しに参りました、只氣の毒に思つて居たのは萬屋の左

次右衛門、是は前にも申上げました通り極善い人でございまして萬事女房に任して置いた物故、此ういふ事になりまして、次郎左衛門

は其の日の勘定を拂ひ駕籠を頼んで定宿の佐野屋へ歸つて了ひました、扱榮之丞

をはじめとして丸善藤八阿波太夫萬屋のお仲が先立ち

て金のある内は中萬字に居續けをして居る榮之丞の傍

に附切り浮かれ暮して居りましたが、此の評判がチラ

〜吉原五町であるや〜

なる之を聞いた源久、紋吉互に顔に皺を寄せ

源「紋吉聞いたかへ今度の一件を」

紋「マア呆れ返つた事を彼奴等アしやがる」

源「佐野の旦那も俺達を連

れれば、それを以つて一番此の一件を顛覆して萬屋の娘

アや阿波太夫、榮之丞や八ッ橋に青い息を吹かしてや

りてえと思ふが何うだらう」

紋「俺も然う思ふはアア茲で愚圖々々云つて居ねえで

旦那の所へ行つて聞いて見やうぢやアないか假令書い

た物が無くも手切をやつたといふ證據になる物でもあ

れば直ちに會所へ擔ぎ出さうせ」

源「そんなら一緒にやつて呉れるか」

紋「行くとも此の事に就ち

源「且那樣今日は」

紋「御無沙汰を致しまし

た」

次「イヤお前方にお目に懸

るも面目ない、斯う目が覺

めましたどうか廊の話なら

何事もいつて下さるな」

源「ヘエ申すまいとは思ひ

ますが餘り口惜うございま

すから紋吉を連れて参りま

した、旦那マアとんだ目に

お遇いなすつたな」

紋「私共が廊に居て其事を

直ぐに聞きますれば参つて

何うでも致しましたがお客

様のお供で外へ出て居たも

のでございませうから、後で

聞いて口惜くつて寝られな

い位でございませう」

次「金は些かだが人を座ら

して置いて私の事を悪口す

るやら、榮之丞といふ奴は

私の顔へ痰を掛るなど何ぼ

醜い顔でも、實に立場を失

ひましたが然し迷つたのが

此方の誤り場所が場所ゆえ

胸をさすつて歸つて来たが

實に話しをするも口惜い



れて歩きやア面白くねえか

わりにこんな事にはならね

えのに、萬屋の娘やア阿波

太夫にスツカリ狂言を書か

れたんだ」

紋「然うよ、それに就けて

も口惜いなア、何か旦那の

手に證據になるものでも

あるや〜

〜

やアお前も俺の敵役だ、サ

ア直に行かう」

と茲で月岡の源久江戸節

の紋吉は再び次郎左衛門の

定宿佐野屋の家へ参りまし

た、二人は店へ挨拶をして

奥へ通り、次郎左衛門を見

るより

〜

〜

思はれず、實に對手にする

のも大人氣ないと諦めまし

た」

紋「夫ぢやア三百兩正に榮

之丞へおやんなすつたかシ

テ何か書付でもお取りにな

りましたか」

次「榮之丞が書付は出さな

いといふのを阿波太夫が扱

つて書付は貰つて來まし

た」

源「何でございませうと、三

百兩の書付がありますと紋

吉がたぞ」

紋「旦那其の書付を一寸見

せて下さいませんか」

次「オー見るなら見なさい

破いて仕舞をうと思つたが

机の抽斗へ入れといた」

次郎左衛門の詞に、源久

は机の抽斗を開て見ると成

程證文が一本出ました、名

宛は佐野の次郎左衛門、連

印が榮之丞阿波太夫丸善藤

八に萬屋の夫婦でございま

す見るより源久は頭へ載せ

てをどり出しました

次「コレ〜源久騒いぢや

アうけなう」

〜

〜

美味で！
評判の……
イワキ
サロン
電 352

萬雷の拍手に迎えられ四々隣を非時感激篇來る

榮光の無上の稀有名篇に 賜天覽臺覽文部省御推薦

主演 彌之助 昌之助 村澤 雪洲 川早 雪洲 早川 雪洲 早川 雪洲

目下各地絶体好評裡に上映中

- 大阪—大津座 高萩—開明座
- 浪江—浪江座 小高—小高座
- 四倉—四倉座 磯原—磯原座
- 江名—江名座 磯原—磯原座
- 常磐の都 平町聚樂館…三日より
- 堂々上映の秋來らんとす

綿上花を添えて同時上映の
オールトーキー巨豪篇

チャールズスピックフオード主演
大火山の爆發猛獸の奇襲
息さつまる如き大自然の猛威迫
篇 擊 **ボルネオの東**

バットオペラ エン氏主演
空の法は冷く曲げ得ず飛行士に
與へられたるは務の遂行なり
空中飛行機大亂舞篇

廿世紀の寵兒 人類の人氣王
名聲比なきオスワルド漫畫
大空の闘士

西部開拓

録音はウエスタン 發聲はインターナショナル
ル 技術は絶体的綜合最高優秀
斯界の權威 磐城劇場責任提供
將に來る！ 六日より!!!

聚樂館

江戸前料理
紅葉狩にはぜひ錦水の折詰
辨當を御供させて下さい
錦水
電四五四